

執筆者紹介

兪 玉姫 (ユ・オクヒ)

啓明大学校 人文国際学部 日本語文学 教授

韓国の啓明大学校（大邱）を卒業し、1983年から1991年まで文部省の奨学生として日本のお茶の水女子大学で留学し、「俳諧における季節観の研究—芭蕉を中心として」という題で博士学位を取得した。（留学中の1988年、「芭蕉の季節感—時雨と五月雨を中心に」という題で国文学研究資料館の国際日本文学研究集会で発表をしている。）帰国後、1992年から現在に至るまで啓明大学校に在職している。日本の俳諧や和歌、韓国の時調（シジョ）などを比較文化的に研究しながら、日韓両国にその実績を発表している。

『芭蕉俳諧と季節観』（2004、東京、信山社）、『芭蕉俳句の世界』（2002、宝庫社）、『俳句と日本的感性』（2010、J & C）、『蕪村俳句と生の美学』（2015、J & C）などの著書と、『松尾芭蕉の俳句』（1998、民音社）という訳書を出している。時調関連の研究は、「韓国の時調に現れた季節の美と興」（東聖子・藤原マリ子編『国際歳時記における比較研究—浮遊する四季のことば』2012、所収）、「尹善道「漁父四時詞」の海—日韓詩歌の「海」の比較を試みながら」（鈴木健一編『海の文学史』2016、所収）などがある。

KRISTEVA Tzvetana (クリステワ・ツベタナ)

国際基督教大学教授

博士（文学、ソフィア大学、1984年）、博士（学術、東京大学、2000年）。専門分野は日本古典文学、とくに詩学、日本文化・文学理論など。（1980年、『蜻蛉日記』と『とはすがたり』との考察」という題で国文学研究資料館の国際日本文学研究集会で発表をしている。）

著書に“Po Sledite na chetkata. Yaponskata iiricheska proza X-XIV vek”（『水茎の跡・日本の仮名文学（10-14世紀）』, Sofia University Press, 1994）、『涙の詩学 王朝文化の詩的言語』（単著、名古屋大学出版会、2001年）、『心づくしの日本語 和歌でよむ古代の思想』（単著、ちくま新書、2011年）、『日本の俳句はなぜ世界文学なのか』（ドナルド・キーンと共著、弦書房「Fukuoka Uブックレット」6、2014年）、『パロディと日本文化』（共著、笠間書院、2014年）などがある。

1986年、ブルガリア文化省より文化賞（翻訳部門）受賞（受賞理由：『枕草子』の翻訳）、1990年、ブルガリア翻訳者連合賞受賞（受賞理由：太宰治『斜陽』の翻訳）。

白 雲飛 (ハク・ウンヒ)

大阪府立大学人間社会システム科学研究科言語文化学専攻客員研究員

大学共同利用機関法人人間文化研究機構国際日本文化研究センター共同研究員

中国内モンゴル自治区呼和浩特市教育学院(美術系撮影(カメラ)専門)卒業。2001年より日本に留学し、大阪市大谷(女子)大学日本語日本文学学科修了、国立奈良教育大学大学院国語国文学漢文学教科教育専攻修士課程修了、大阪府立大学大学院人間社会学人間科学研究科博士後期課程修了。2015年10月1日から2016年9月30日まで、国立大学総合研究大学院大学文化科学研究科国際日本研究専攻研究生。

研究業績は以下の通り。

国際シンポジウムにおける翻訳：永池健二「日本と韓国における歌謡と民俗の比較研究の方向性」「東アジアにおける農耕文化とウタ」(2009)

論文：「『魂魄』について—『莊子』と『楚辞』を中心に—」『人間社会学研究集録』6(2010)、「夢の中の死者とたましい」『人間社会学研究集録』8(2012)、「魂魄観の変遷における『白虎通』の位置—情性篇を手掛かりに—」『奈良教育大学国文学—研究と教育—』第35号(2012)、「以魂與魄的二元対応対立為視点試論《礼記》的魂魄観」『内モンゴル民族大学学报』社会科学版4(2013)、「『魄』の形について—月相表現を中心に—」『形の文化研究』8(2013)

巖 教欽 (オム・キョフム)

東京大学総合文化研究科比較文学比較文化コース博士課程在学中

韓国外国語大学卒業後、2009年に東京大学総合文化研究科比較文学比較文化コースに入学。平安時代『拾遺集』から『後拾遺集』の間の私家集や秀歌撰の、主に和歌表現の受容と変容について研究を進めている。2015年12月韓国日語日文学会で「能因法師の『玄々集』における撰歌意識に関する一考察—『拾遺集』との重出歌を手掛かりに—」という題で発表し、日本での発表は今回が初めて。

上阪 彩香 (ウエサカ・アヤカ)

同志社大学特別任用助教

2011年同志社大学文化情報学部文化情報学科卒業、2013年同研究科博士(前期課程)修了、2016年同研究科博士(後期課程)修了。博士(文化情報学)。専門は計量文献学。主な著書に『計量文献学の射程』(勉誠出版株式会社、2016)、論文に“Verifying the Authorship of Saikaku Ihara's Work in Early Modern Japanese Literature: A Quantitative Approach”(Oxford University Press, 2015)などがある。

田 云明 (デン・ウンメイ)

唐山学院 (中国) 専任講師

平成25年3月、名古屋大学大学院国際言語文化研究科博士後期課程修了。文学博士。研究分野は中日比較文学、中世文学、思想史。

今までに発表した主な論文：

- ① 『『方丈記』における「閑居」と浄土』、『和漢比較文学』第49号、平成24年8月
- ② 「僧侶と隠逸表現—受容と再構築」、『日本研究』第47集、平成25年3月
- ③ 『『文選』遊仙詩の超克—空海の「遊山慕仙詩」をめぐって—』、『日本研究』第53集、平成28年6月

趙 季玉 (チョウ・キギョク)

早稲田大学リサーチフェロー

北京外国語大学・北京日本学研究センター博士課程二年

研究分野：中世文学、仏教と文学

今までに発表した論文：

- 1、『『日本霊異記』における夢—「感応夢」を中心に—』『日本学研究』学苑出版社 2015年1月
- 2、『『雨月物語』における女性像』『日本語と文化』(《日語与文化》) 上海交通大学出版社 2015年3月
- 3、『「前世夢告夢」の変遷—『日本霊異記』から『今昔物語集』へ』『日本学研究』学苑出版社 2015年12月

何 美娜 (カ・ミナ)

広島大学特別研究員

中国国内で修士課程を終えた後、広島大学文学研究科博士課程に入学し、2016年3月、同博士課程を修了。修士課程から正岡子規の漢詩について研究しており、博士論文を代表とする成果を挙げた。

FOLLACO Gala Maria (フォッラコ・ガラ マリア)

ナポリ東洋大学研究員

2012年、同大学で博士号取得。2007年～2009年、文部科学省研究生として早稲田大学大学院教育学研究科で留学。専門は日本近現代文学。論文に「表象空間としてのふるさと—谷崎が見た昭和初期の東京・『芸談』を視座として」(2016年)、「Close yet Far. Fractured Identities in Nagai Kafu's American Writings」(2016年)、「『芸談』に見る三十年代谷崎の文学・文学者観」(2015年)などがある。

第40回国際日本文学研究集会プログラム

平成28年11月19日（土）

開会挨拶

IMANISHI Yuichiro
今西 祐一郎（国文学研究資料館長）

第1セッション

▼研究発表

- ①「破鏡」は「半鏡」に非ず
— 源光行『百詠和歌』第一「分暉度鶴鏡」注を中心として —
BAI Yunfei
白 雲飛（大阪府立大学客員研究員）
- ②能因における貫之の影響 — 伝統と変奏 —
UM Kyoheum
巖 教欽（東京大学大学院博士課程）
- ③西鶴浮世草子における物語の内容別にみた文章の特徴について
— 数量的観点からみた好色物、武家物、町人物、雑話物の文章の違い —
UESAKA Ayaka
上阪 彩香（同志社大学特別任用助教）

第2セッション

▼研究発表

- ④中日僧伝文学に表れた「狂僧」に関する一考察
TIAN Yunming
田 云明（唐山学院専任講師）
- ⑤中日文学交流における「夢記」—— 明恵『夢記』の執筆契機をめぐって ——
ZHAO Jiyu
趙 季玉（早稲田大学リサーチフェロー、北京外国語大学博士課程）

ショートセッション1

- ①『日本霊異記』中巻第十縁における脚色と改変～「自土」の視点
SUN Shihwei
孫 世偉（早稲田大学リサーチフェロー、
カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）博士後期課程）
- ②志賀直哉文学における「リズム」の概念と現象学的文芸論の可能性
ZABEREZHNAIA Olga（モスクワ大学大学院修了）
- ③日本語教材となった近代日本文学—— 講談速記を中心に ——
ALBEKER András Zsigmond（京都大学非常勤講師）

ショートセッション2

- ④多和田葉子『献灯使』論 — 震災後風景の文学表象
KIM Seungyeon
金 昇淵（立命館大学大学院博士前期課程）
- ⑤恋愛と女同士の友情
SANGA Luciana（早稲田大学研究員、スタンフォード大学博士課程）

平成28年11月20日（日）

第3セッション

▼研究発表

- ⑥子規漢詩に見る女性観 HE Meina
何 美娜（広島大学特別研究員）
- ⑦『山の音』における能——諸外国語の翻訳から検討する——
MORISHITA Ryoko
森下 涼子（総合研究大学院大学博士後期課程）
- ⑧永井荷風が描いたサウンドスケープ
——昭和初期の作品における音の図象性——
FOLLACO Gala Maria（ナポリ東洋大学研究員）

特別講演

俳諧に現れた日常の美学とその特性

——日韓の詩歌比較の観点から——

YOU Ok Hee
兪 玉姬（啓明大学校教授）

知の形態としての日本古典文学

KRISTEVA Tzvetana（国際基督教大学教授）

ポスターセッション（11月19日～20日）

- シアトル美術館蔵『源氏絵巻物』についての諸検討
——初期の土佐派源氏絵巻—— KUHN Michelle（名古屋大学特任講師）
- 平安文学における「観相」受容の可能性
——『源氏物語』と『浜松中納言物語』を中心に——
ZHANG Peihua
張 培華（国文学研究資料館博士研究員）
- 佐久間象山「東洋道德、西洋芸術」にみる「芸術」について
EZAKI Kimiko
江崎 公子（元国立音楽大学准教授）
- 『西鶴諸国はなし』巻三の六「八畳敷の蓮の葉」における
策彦和尚の落涙についての考察
MIZUKAMI Yusuke
水上 雄亮（武蔵高等学校中学校専任教諭）
- 藤原公任と薫物の伝承
——物語古注釈書と薫物秘伝書が伝える王朝の貴顕の香り——
TANAKA Keiko
田中 圭子（広島女学院大学客員研究員）
- 遠藤周作とフランツ・ファノン KAMIYA Mitsunobu
神谷 光信（関東学院大学客員研究員）
- 国宝「銅造薬師如来坐像」光背銘再攷 LAI Yenhung
賴 衍宏（靜宜大学副教授）

第40回国際日本文学研究集会 参加者名簿

List of Participants

(氏名)	(現職名または所属機関)	(身分)	(研究分野)
今西祐一郎	国文学研究資料館	館長	日本古典文学
谷川 恵一	国文学研究資料館	教授	近代文学
小林 健二	国文学研究資料館	教授	中世文学
伊藤 鉄也	国文学研究資料館	教授	日本中古文学
齋藤真麻理	国文学研究資料館	教授	国文学
陳 捷	国文学研究資料館	教授	日中文化交流史・中国文献学
山下 則子	国文学研究資料館	教授	日本近世文学
相田 満	国文学研究資料館	准教授	和漢比較文学
青田 寿美	国文学研究資料館	准教授	近代文学
入口 敦志	国文学研究資料館	准教授	日本近世文学
海野 圭介	国文学研究資料館	准教授	和歌文学
小山 順子	国文学研究資料館	准教授	古典和歌
ダヴァン・ディディエ	国文学研究資料館	准教授	中世仏教と文学
野本 忠司	国文学研究資料館	准教授	情報科学・言語工学
リーブズ・クリストファー	国文学研究資料館	助教	中古文学
恋田 知子	国文学研究資料館	助教	中世文学
井内美由起	国文学研究資料館	機関研究員	日本近現代文学
浅川 槿子	国文学研究資料館	プロジェクト研究員	日本古典文学
板坂 則子	専修大学	教授	近世文学 (戯作)
坂本 信道	京都女子大学	教授	平安時代の文学 (物語・日記)
櫻井 陽子	駒澤大学	教授	中世文学
深沢 眞二	和光大学	教授	連歌俳諧
河野 至恩	上智大学	准教授	比較文学・日本近代文学
中村 ともえ	静岡大学	准教授	近代文学
白 雲飛	大阪府立大学 国際日本文化研究センター	客員研究員 共同研究員	中国哲学・思想、日本 中世説話文学

巖 教欽	東京大学大学院	大学院生	平安時代の和歌
上阪 彩香	同志社大学	特別任用助教	計量文献学
田 云明	唐山学院	専任講師	中日比較文学
趙 季玉	早稲田大学 北京外国語大学	リサーチ・フェロー 大学院生	中世文学・仏教と文学
何 美娜	広島大学	特別研究員	近代の漢詩
森下 涼子	総合研究大学院大学	大学院生	近代文学
フォッロコ・ガラ マリア	ナポリ東洋大学	研究員	日本近現代文学
孫 世偉	カリフォルニア大学 早稲田大学	大学院生 リサーチ・フェロー	上代文学
ザベレジナヤ・オリガ	モスクワ大学	大学院修了	日本近代文学、文学と美意識
アルバケル アンドラーシ・ ジグモンド	京都大学	非常勤講師	明治期の速記資料
金 昇淵	立命館大学大学院	大学院生	近現代文学
サンガ ルチアナ	早稲田大学 スタンフォード大学	研究員 大学院生	恋愛小説
キューン・ミッシェル	名古屋大学	特任講師	人文学・日本文学
張 培華	国文学研究資料館	博士研究員	平安文学と中国文学を 比較する研究
江崎 公子	国立音楽大学	元准教授	語彙史、教育史、音楽教育史
水上 雄亮	武蔵高等学校中学校	専任教諭	日本近世文学
田中 圭子	広島女学院大学	客員研究員	日本古典文学、日本文化
神谷 光信	関東学院大学	客員研究員	日本近代文学
頼 衍宏	静宜大学	副教授	比較文学
兪 玉姫	啓明大学校	教授	俳諧・和歌・比較文化学
クリステワ ツバタナ	国際基督教大学	教授	日本古典文学
大森 純子	中京大学	元講師	平安文学
Gunilla Linberg Wada	Stockholm University		平安文学
田村 隆	東京大学		平安文学
菊田 育夢	国際基督教大学	学部二年生	
日高 愛子	志學館大学		和歌文学
村上 征勝	勉誠文化情報研究所		文化情報学

小曾戸 明子	八王子市		臨床文学
勝又 基	明星大学		日本近世文学
田中 智子	東京大学大学院		中古
黄 昱	国文学研究資料館		日本中世文学
村尾 誠一	東京外国語大学		和歌
J.N.ウェスタホーベン			
高 大河	早稲田大学大学院	修士一年	
アングソヴァ・マラル	和光大学	研究員	
張 奕琳	早稲田大学	外国人研究員	日本漢詩
Antonin FERRE	東京大学大学院		国文学
紅林 健志	国文学研究資料館	博士研究員	近世文学
河野 貴美子	早稲田大学		
ブ セイセイ	早稲田大学		上代文学
グアリーニ・レティツィア	お茶の水女子大学		
中村 健太郎	帝京大学短期大学		和歌文学
西野 常夫	九州大学		
堀 誠	早稲田大学		
千葉 俊二	早稲田大学		
岸川 俊太郎			
金田 房子	清泉女子大学	客員所員	日本近世文学（俳諧）
和田 敦彦	早稲田大学		
近衛 典子	駒澤大学		日本古典文学
大野 ロベルト	日本社会事業大学		日本古典文学
斉藤 みか	国際基督教大学		日本文学
XIE Yinping	国際基督教大学		日本文学

※掲載希望者のみ 入場者総数 93名

平成28年度国際日本文学研究集会委員会委員名簿

委員長	板坂 則子	専修大学文学部教授
委員	坂本 信道	京都女子大学文学部教授
委員	櫻井 陽子	駒澤大學文学部教授
委員	深沢 眞二	和光大学表現学部教授
委員	河野 至恩	上智大学国際教養学部准教授
委員	中村 ともえ	静岡大学教育学部准教授

〈館内〉

副委員長	齋藤 真麻理	研究部教授・国際連携部長
委員	谷川 恵一	副館長（研究担当）
委員	寺島 恒世	副館長（企画調整担当）
委員	伊藤 鉄也	研究部教授
委員	陳 捷	研究部教授
委員	相田 満	研究部准教授
委員	青田 寿美	研究部准教授
委員	入口 敦志	研究部准教授
委員	海野 圭介	研究部准教授
委員	木越 俊介	研究部准教授
委員	ダヴァン・デイディエ	研究部准教授
委員	西村 慎太郎	研究部准教授
委員	野本 忠司	研究部准教授
委員	リーブズ・クリストファー	研究部助教
委員	野網 摩利子	研究部助教